

えんがる 議会だより



平成28年第4回町議会(定例会) P 2 ~ 3

請願及び意見書

平成27年第3回、第5回町議会(臨時会) P 4 ~ 5

町政を質す!! 一臥質問 P 6 ~ 10

委員会レポート、報告(第3セクター) P 11 ~ 15

えんがある話・編集後記 P 16

花、木、石、魚、蝶 決まる!!

平成28年第4回町議会（定例会）

平成28年第4回遠軽町議会（定例会）は、6月13日に招集され、6月16日までの4日間の会期で開かれました。

冒頭、佐々木町長から行政報告として、JR北海道から特急オホーツクについて、一部の運行を網走・旭川間に短縮する説明があつた件について、今後、道及び関係市町村とも連携し、現状維持に向け協議を進めることの要旨説明が行われました。

報告案件は、第三セクターの経営状況について3件、平成27年度一般会計の繰越明許費について、報告がありました。

審議案件は、平成27年度一般会計・特別会計補正予算の専決処分3件、表彰1件、北海道市町村職員退職手当組合規約の変更1件、北海道町村議員公務災害補償等組合規約の変更1件、北海道市町村総合事務組合規約の変更1件、遠軽町各条例の一部改正5件、工事請負契約の締結2件、財産の取得2件、財産の処分1件、平成28年度一般会計補正予算1件、追加議案として遠軽町民憲章及び遠軽町の花、木、石、魚及び蝶の制定、工事請負契約の締結3件、議員から意見書5件が提案され審議の結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。

平成28年第4回遠軽町議会（定例会）は、6月13日に招集され、6月16日までの4日間の会期で開かれました。

遠軽町民憲章

大雪山系の山々から連なる豊かな森林と、そこから生み出される清流によって育まれた文化の香り漂う私たちのふるさと遠軽町。高遠な理想に燃える先人達が夢を持ち壮大な構想を描き、開拓の鍵を打ちおろした志を受けつぎ、さらなる理想郷をつくるため、ここに町民憲章を定めます。

「育み・創り・愛し・励む心で、永遠に輝く遠軽町」

- ・自然と大地の恵みに感謝し、大切に守り育む心
- ・歴史と伝統を礎に、未来に誇れる文化を創る心
- ・人の和で絆を深め、明るく歩む郷土を愛する心
- ・生活に生きがいを持ち、互いに学びあい励む心

主な内容

◆町民憲章及び町の花、木、石、魚、蝶を制定

遠軽町民憲章等検討委員会からの具申を受け、提案のあった本件に関し、

遠軽町議会基本条例に基づき可決しました（関連は11ページ）。

表彰

遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することに決しました。

◎社会功労（公共のため30万円以上の金品を寄附した個人）

- ・涌島 正成 様
(社会福祉振興資金)
- ・吉田 比呂樹 様
(遠軽高等学校吹奏楽団応援資金)
- ・東海林 強 様
(子育て支援資金)

一部改正
する条例の一部改正

◆遠軽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

小中一貫教育を行う新たな学校種類の制度化のため「義務教育学校」を追加

◆遠軽町災害見舞金支給条例の一部改正

万円、2人以上の世帯3万円を一世帯10万円に、人身は死亡2万円を10万円に増額するなど拡充

住宅全焼等は単身1

主な条例の改正

◎社会功労（公共のため100万円以上の金品を寄附した法人または団体）
(奨学資金貸付資金)

①契約事業者、②契約額
③予定期工期

◎（仮称）スポーツ広場整備工事その1（人工芝競技施設工事一式）
①渡辺・管野・大同特定

工事請負契約

請願

請願審議

第4回定例会に請願が提出され、総務・文教常任委員会に付託し、閉会中の審査となりました。

○請願書名①

「町民である自衛隊員の命と人権を守る自衛隊存置活動」を町長へ提言することを求める請願書

○請願者

遠軽9条の会

代表 佐藤 慶之進 様

○請願の概要

安全保障関連法の成立に伴い、PKO活動に加えられた「駆け付け警護」は、自衛隊員の命を危険にさらす可能性のある任務で、住民を誤射したり、捕虜となつた場合の人権の保障が危惧される。

同法による自衛隊員の命と人権に関する新たな不安の増大に鑑み、自衛隊存置活動の中に「遠軽町民である自衛隊員の命

と人権を守る活動」を組んでいただきたい。なお、3月に同趣旨の提言を存置期成会にすることを求めたが、構成団体であるため、そぐわないと理由で不採択となつたため、同会にではなく町長への提言を要望する。

○請願書名②

「PKOの『駆け付け警護』任務を行わないことを求める意見書」の提出を求める請願書

○請願者

遠軽9条の会

代表 佐藤 慶之進 様

○請願の概要

提出を求める意見書の内容は請願書①の概要と同趣旨ですが、3月定例会で不採択となつた理由の「不適切な表現」については、表現を改め「議会の権限に属さない」について、精査を要望するものです。

意見書 —国や道への要望意見書5件を提出—

議員提案により意見書案が提出され、いずれも可決し関係省庁等に送付しました。※要望事項のみ要約しています。

厚生労働大臣

学保障の充実。

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見

書（提出者等 阿部議員ほか4人）

平成32年までに全国平均1000円に最低賃金を引き上げ。

ほか5人

介護保険の理念に沿い、必要な方の生活を支える観点から検討。

（提出先）内閣総理大臣、厚生労働大臣

（提出者等 稲場議員ほか3人）

（提出先）北海道労働局

（提出者等 阿部議員ほか5人）

義務教育費国庫負担制度

（提出先）北海道地方最低賃金審議会長

（提出者等 阿部議員ほか5人）

骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書（提出者等 阿部議員ほか5人）

（提出先）北海道労働局

（提出者等 阿部議員ほか5人）

（提出先）北海道労働局

（提出者等 阿部議員ほか5人）

（提出先）北海道労働局

（提出者等 阿部議員ほか5人）

（提出先）北海道労働局

（提出者等 阿部議員ほか5人）

- ④保護者負担の解消、就学保障の充実。
⑤給付型奨学金の拡充。（提出先）内閣総理大臣、文部科学大臣ほか

- 道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しとすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書（提出者等 稲場議員ほか3人）

- ①指針の抜本的な見直し。
②「公立高校配置計画」は、一方的に策定は行わないこと。

- ③「遠距離通学費等補助制度」の年限撤廃、適用範囲の拡大。
④全ての子どもが地元の高校へ通うことができるよう保障すること。

- （提出先）北海道知事、北海道教育委員会教育長

（提出先）内閣総理大臣、

①休暇制度化の検討。
②ドナーが休業する場合の補償制度を創設。

（提出先）内閣総理大臣、

③教頭等の全校配置。

（提出先）内閣総理大臣、

①義務教育費の無償化、国庫負担率を復元。

（提出先）内閣総理大臣、

②「30人以下学級」の実現。

（提出先）内閣総理大臣、

平成28年 第5回臨時会

「名譽町民」

決まる！

平成28年第5回遠軽町
議会（臨時会）は6月17
日に開かれました。

冒頭、佐々木町長から
石井孝一氏を遠軽町名譽
町民とするため、遠軽町
名譽町民条例に基づき提
案がありました。関連し
て顕彰に係る経費計上の
ため、一般会計の補正予
算も提案され審議の結果、
賛成多数で可決しました。

◎石井孝一氏

・主な公職歴

S 59年 全国町村会表彰
H 23年 北海道知事表彰
H 21～23年 道議會議長

H 24年 旭日中綬章

平成28年 第3回臨時会

生田原、安国のプールを改修！

条例

いずれも、地方税法等
の一部を改正する法律に
伴い必要な条例改正を専
決処分するものです。

平成28年第3回遠軽町
議会（臨時会）は5月26
日に開かれました。

冒頭、佐々木町長から
株遠軽農業振興公社が、
解散し、新たに設立した
株遠軽食品に引き継がれ、

公社が民間移行したこと
のほか、4月14日に発生
した熊本地震で亡くなら
れた方々とその御遺族に
対し哀悼及び被災者の
方々にお見舞いの意を表
するとともに、義援金や
募金の取組について報告
がありました。

工事請負契約

①契約事業者

②契約額
③予定工期

◎遠軽中学校大規模改修
工事（建築主体 繰越）

その1

①株山口産商

②2億3976万円
③2月28日

主な内容

◎遠軽中学校大規模改修
工事（機械設備 繰越）

①サトウ・北海特定建設
工事共同企業体

②5972万円
③2月28日

（主な歳出内訳）

4万円を追加し、歳入歳
出予算の総額を歳入歳出
それぞれ161億7694万円としました。

・備品購入費
安国及び生田原水泳プー
ルの上屋シートの更新費
用です。

財産取得

○水泳プール管理運営事
業

◎マイクロバス1台

・取得事業者 旭川トヨ
タ株

・契約額 579万円

1394万円
・プールシート設置及び
撤去業務委託料

業

日本赤十字社を通じて
義援金を送金します。

補正予算

◆平成28年度遠軽町一般
会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に、



- ◆遠軽町国民健康保険条例
- ◆遠軽町都市計画税条例

- ③2月28日
- 工事共同企業体
- ②5972万円
- 総務一般経費 300万円
- ・熊本地震災害義援金

市政を質す!! ただ

問質般一般



問 第2次遠軽町総合計画の「雇用環境の安定」の現状と課題では、「国の方針に基づき雇用の安定化と雇用の確保を図つていきます。その上で、新たな雇用の受け皿となる企業が不足していることが課題」としています。昨今、少なからず町内の中小企業でも雇用に対する意欲が見られる中、町内の企業の経営者からは、「求人を出しても人が来ない。若い人を採用し、事業継承を図りたいが進まない。」との声が多く聞こえています。

町内の雇用安定を図り、人口減少に歯止めをかけ

るには、町も企業と一体となり雇用促進に向けた施策展開するべきという考え方から、2点について町長の考えを伺います。

1 人材確保が難しい町内の企業に対しての、支援が必要な時期に来ています。雇用環境の安定に向けた現状と課題を踏まえて、より具体的な施策を講じるべきと考えます。がいかがでしょうか。

2 Iターン・Uターンで地元に若年者が帰つきやすくなるような支援が必要かと考えます。若年者の定住促進に向け、町内企業の雇用確保に寄与する施策を今後展開し

町長 本町における雇用施策につきましては、第2次遠軽町総合計画において、雇用の場の創出と働き手の確保を始めとする5つの施策により、町政を推進しているところです。しかしながら地元企業からは求人を出してもなかなか人が集まらないとの話を伺っています。雇用の安定を図るには各種助成金制度の積極的な活用を促すほか、町民参加により作り上げていただきました各種取組を着実に推進していくことか。

が重要と考えています。また、雇用の施策以外にも、医療環境や教育環境の施策を総合的かつ統的に取り組むことが、町の魅力の向上に繋がり、ひいては人材の確保に資するものと考えています。

2点目については、大型免許資格取得支援事業やお試し暮らし体験住宅の整備、地域おこし協同隊事業、地元企業説明会や特産品開発支援制度等各種施策を現在行っているところです。

地元に若い人が帰つてきやすくなる、直接的な支援も考えられるところです。

暮らし体験住宅は現在社名淵地区、丸瀬布地区にあります。今後白滝・生田原地区に広げていく考えはお持ちですか。

問
町内企業の雇用促進に向けた
今後の取組みは

総合的に各種取組みを推進していく

ではあります、総合的に取り組みを進めていくことが、地元企業の雇用の確保にも資するものと考えています。

町政を質す!!

本事業費は34億円余り
多機能を備えた地域交流施設として期待しているところです。

一般質問

竹中 裕志 議員



問 福祉センター建替え工事について

あらゆる面から検討し、しつかりした事業を推進していく

本年度から始まつた本事業は多くの町民の関心的であり、JR遠軽駅周辺市街地再開発を見据えた、極めて重要な事業と捉えています。本町における人口推計は減少傾向であり、それに伴う税収や交付税の減少が懸念されております。が、本事業は低迷する市街地域活性化の一因ともなり、多くの町民が気軽に集まる賑わいの場として、さらには「吹奏楽の街・遠軽」にふさわしい、

①現在までの地権者及び旧中央病院跡地に係る進捗状況と今後の見通し
②取得予定地の変更における、建物及び駐車場等、配置プランの掲示時期
③岩見通りからの車両動線も含めた、利用者の利

便性向上の対応
④ふあーらいとの利活用及び周辺整備

未だに禍根を残すことのない完成度と満足度の高い業務遂行されることを強く思うところです。

そこで次の4点について質問します。

①旧遠軽中央病院の土地、建物については、先に医療法人恵池会様より寄付の申し込みを受けたところです。この土地、建物について、まずは建物規模、配



コミュニティ駐車場側から現地を望む

配置プランについては、早い時期に構想案という形で、建物及び駐車場の位置などについて、ご提案し、ご意見を伺いたいと考えております。
③現在、一方通行である岩見通りについては、施設のアクセスの利便性を高めるため、対面2車線通行を検討しています。

今後、関係機関とも協議しながら「多くの町民は補償費算定業務委託の結果を持ち、戸別に説明し、ご協力を願いしております。個々の事情にも丁寧に対応して参ります」と考えております。

②建物の位置については、駅前通りに面する土地の取得が困難となり、旧中央病院跡地の傾斜地を利用するよりも、平場のコ

ミュニティ駐車場を活用した方が、さまざまな設計内容に対応ができる、土地の有効活用になると考

えます。駐車場は建物規模、配

置を含め最大限の確保を

検討してまいります。

町長

①旧遠軽中央病院

の土地、建物については、

今後、新福祉センターの別館的な利活用、周辺

②取得予定地の変更における、建物及び駐車場等、配置プランの掲示時期

の別館的な利活用、周辺

ただ 町政を貢献す!!

一般質問 松田 良一 議員



【問】 農業振興公社は3月31日をもつて解散し、「株式会社遠軽食品」に引き継がれることになりました。このことにより、南瓜などの農産加工原料として継続して作付けできます。南瓜は遠軽町全体では14戸の農家で40ha作付けされており、70歳、80歳代と高齢になつても作付ができる作物で、農産物加工場も25人が働いており、大切な雇用の場です。町長は「遠軽の基幹産業は農業だ。しっかりと守っていく。」と発言され、私ども農業を営む者にとっては大変力強く感じています。

【町長】 平成3年から農作物の加工事業を行い、地域の農産物を受け入れることで、農業振興、雇用の確保に寄与してきました。株式会社遠軽食品が農産物加工事業を継承することで、生産者が安心して農業経営を維持することができます。

【再問】 フロンガスの問題

【再問】 湧別、遠軽、農協トップの諸官庁への要請



【答】 今後の地場農産物加工事業の対応は、国、道の制度も活用しながら、支援する

公社から移行した加工場は26年余りの年数が経過し、徹底した食品衛生管理が求められる昨今、冷凍庫、冷蔵庫などの機械設備が老朽化、更新には多額の費用が見込まれるが、町としてどのような考え方を持っているのか町長の見解を伺います。

【町長】 しかしながら、建設から26年経過しており、衛生管理及び環境対策の上で必要に応じ、必要な整備や改修に対しさまざまな制度を活用しながら支援を行います。

【農政課長】 フロンガスの環境問題から、フロン類の国内生産が廃止される予定であり、業務用の冷冻冷藏機械等も対象であると聞いています。改修の規模や方法、費用について相談しながら、国や道の補助金を受けられるか調整しながら進めます。

【町長】 一次産業があるから二次産業、三次産業そして、遠軽町、厚生病院、遠軽高校があります。麦乾施設も厳しい状況のなか連携した結果、採択されました。輪作体系を維持でき、農業全体の振興につながると確信しています。遠軽町総合開発期成会で、この地域を守つていきます。

これから農産品は近隣町と連携を取り一体となつて市場に発するべきだと思いますが、町長の考えは。

町政を質す!!

一般質問
岩澤 武征 議員



問 6月3日、市中パレード協賛会は、自衛隊の65周年記念市中パレードを自衛隊に要請することを決めたと聞きました。2年前にもこの件について質問しましたが、その後日本の状況は大きく変化しました。

憲法を無視して集団的自衛権行使を可能にする、「安保関連法」が騒乱の中で強行採決され、武器をもつて海外に派遣される自衛隊員の命が危険にさらされる事態が起きるのではないかとマスコミでも危惧されています。

危機対策室長の話では2年前と同じ内容になる

のではということですが、そうなると、装甲車や隊員が銃をもつてパレードするということになります。

武装パレードが安全・安心の町づくりや存置はどう結びつくのか理解できません。

問 親の介護のために仕事を辞めざるを得ない

答 遠紋地域で支えて
問 学田病院に対する
町長の認識は

町長 平成26年度末の保成と全国に遠軽町が駐屯地を支えているという意味のアピールです。

に原則隔年での市中パレードを要請したところです。町民と一体感の醸成とともに達しています。家族介護のため、肉体的にも精神的にも経済的に

問 6月3日、市中パレード協賛会は、自衛隊の65周年記念市中パレードを自衛隊に要請することを決めたと聞きました。2年前にもこの件について質問しましたが、その後日本の状況は大きく変化しました。

のではということですが、そうなると、装甲車や隊員が銃をもつてパレードするということになります。

武装パレードが安全・安心の町づくりや存置はどう結びつくのか理解できません。

も疲れ果て、心中や殺人といった悲惨な事件も数多く起っています。今後かが欠けても遠軽町の安全は守れないと思っています。

も疲れ果て、心中や殺人といった悲惨な事件も数多く起っています。今後かが欠けても遠軽町の安全は守れないと思っています。

医療、教育、福祉から財政の面も駐屯地というのはあらゆる面で影響があります。このうちの何かが欠けても遠軽町の安全は守れないと思っています。

も疲れ果て、心中や殺人といった悲惨な事件も数多く起っています。今後かが欠けても遠軽町の安全は守れないと思っています。

も疲れ果て、心中や殺人といった悲惨な事件も数多く起っています。今後かが欠けても遠軽町の安全は守れないと思っています。

問 全国にアピールするための理由は

自衛隊の市中パレード要請の

であり、更に要介護5で居宅サービスを受けている方は19人ですが、その多くは、自宅での介護を希望されている方です。

介護保険の支援策については、居宅介護支援

訪問看護、訪問入浴介護などがあり、生活環境を整えるサービスとして福祉用具貸与、居宅介護住宅改修などがあります。

また、家族介護者への精神的支援策として「認知症カフェ」が毎月開催されています。

今後も家族介護者が孤立しないよう、民生委員地域自治会や介護保険関連事業者等とも連携を取りながら支援をしてきたいと考えています。

学田病院については、遠軽地域も紋別地域もいろいろな面で学田病院を支えてきているところであります。

町政を質す!! ただ

一般質問
阿部 君枝 議員



問 いつ起こるか、予測の難しい大規模災害に備えるため、行政は町民の命を守る防災・減災対策の強化に全力で取り組まなければなりません。

東日本大震災後、災害対策基本法が改正され平成25年6月に公布されました。この改正では災害時の避難に、特に支援を要する方についての名簿の作成、利用制度が初めて規定され、それに付隨し個人情報保護の特例も措置されました。

高齢者や障害者等の災害要支援者を災害から保護するため、市町村長が避難について、特に支援

が必要な方の名簿をあらかじめ作成し、消防機関や民生委員等の地域における支援者との間で情報共有するための制度について、国として初めて法整備されました。

こうした名簿の作成・利用に際しては、各市町村の個人情報保護条例の規定に抵触する場合もあることから全ての市町村において必要な個人情報の利用が可能になるように、法律に明確な根拠を設けることとしたものであります。この改正により、町においての対応を伺います。

町長 1点目の質問につきましては、遠軽町地域防災計画に基づき、保健福祉課と連携して避難行動要支援者名簿を作成しています。

2点目の質問につきましては、災害対策基本法では、災害が発生、または発生のおそれがある場合において、避難行動要

問 答 災害時の避難行動要支援者に対する個別計画の策定を進める



においては消防、警察等の防災関係機関及び民生委員、社会福祉協議会、自治会等の避難支援者等関係者に名簿を提供し避難行動を行うことができます。

3点目の質問につきましては、平常時の避難支援者等関係者への名簿情報提供については、避難支援者や関係者等に対する、要支援者名簿の情報提供について、避難行動支援者に対する個別計画の策定状況について

支援者の生命また財産を災害からまもるため、本人の同意の有無に関わらず避難支援等関係者に名簿を提供することができるとされており、災害時

当者の同意を得てから民生委員、社会福祉協議会、自治会等、避難支援者の協力を得ながら策定を進めいく予定です。

常任委員会

レポート 4月～6月

総務・文教常任委員会

各常任委員会で審議した主な項目について掲載しています。

件!! 町の花、木、石、魚、蝶はいかに考えるか

↓以下各選定理由↓

花（コスモス） コス

モスの花言葉は「調和」であり、コスモス園の花植え、草取りなどを町民がボランティアで行っている。協働のまちづくり



花言葉は「調和」

木（エゾヤマザクラ）

1972年に日中國交正常化を記念して、町内事業者が育てた苗木を日本から中国に寄贈。

その後、中国から枝が里帰りし、バイオ増殖で成長した苗木が2001年に「おかえり桜」として「太陽の丘」に植樹されており、平和・友好の技術が友好の懸け橋にさわしい。

木（藤） まるせつぶ藤園は、藤まつりなどを通して町民に親しまれており、藤棚が連なるその姿は、絆を大切にする当町にふさわしい。



技術が友好の懸け橋に

継を大切に

象徴として当町にふさわしい。

石（黒曜石）

白滝地域は黒曜石の産地であり、当町は、「白滝ジオパーク」として認定。

ガラス質のその輝きは、黒曜石が誕生した220万年前と現代を結ぶ歴史の輝きであることから当町にふさわしい。



継を大切に

象徴として当町にふさわしい。

魚（ヤマベ）

白滝地域は黒曜石の産地であり、当町は、「白滝ジオパーク」として認定。



歴史の輝き

息し絶滅危惧種に指定されているオオイチモンジは、豊かな自然環境の象徴。

また、さなぎから蝶が羽ばたくように子供たちが夢をもつて成長することを願い選定。



未来へはばたく



豊かな自然の象徴

象徴として当町にふさわしい。

蝶（オオイチモンジ）

白滝布、白滝地域に生息する流線型であるヤマベは、その美しさから「溪流の女王」ともいわれ、緑豊かな森と清き流れが育む、豊かな自然の象徴として選定。



豊かな自然の象徴

象徴として当町にふさわしい。

蝶（オオイチモンジ）

白滝布、白滝地域に生息する流線型であるヤマベは、その美しさから「溪流の女王」ともいわれ、緑豊かな森と清き流れが育む、豊かな自然の象徴として選定。

また、さなぎから蝶が羽ばたくように子供たちが夢をもつて成長することを願い選定。



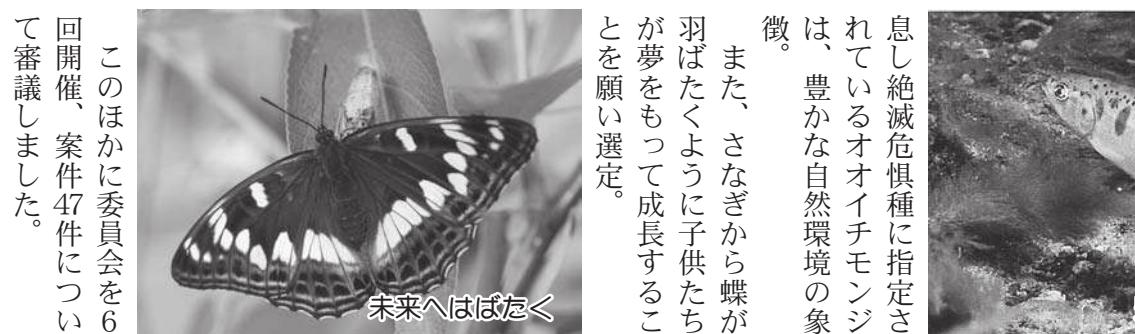
豊かな自然の象徴

象徴として当町にふさわしい。

蝶（オオイチモンジ）

白滝布、白滝地域に生息する流線型であるヤマベは、その美しさから「溪流の女王」ともいわれ、緑豊かな森と清き流れが育む、豊かな自然の象徴として選定。

また、さなぎから蝶が羽ばたくように子供たちが夢をもつて成長することを願い選定。



豊かな自然の象徴

常任委員会

レポート 4月～6月

民生常任委員会

市町村地域連携
モデル事業

天使たちのために地域
医療を守る！

昨年度に引き続き、市町村地域連携モデル事業を活用し地域医療対策事業として、JA遠軽厚生病院の産婦人科医師確保対策に係る遠軽地区3町による、地域医療対策連携会議負担金を3町同額の280万円補正計上。東京の山手線1編成11両の広告枠を1週間借り切り、昨年度のポスターに加え、3町の自然やイベントなどを紹介するポスターも掲示。

ダイレクトメールは、道外のJA関係医療機関と医育大学のうち熊本地震に配慮し九州地区を除く252施設約2千人に送付。

○臨時福祉給付金
平成26年の消費税率引
上げによる影響を緩和す

るための給付金。平成28

知っていますか？

遠軽厚生病院で妊婦健診を受けていた妊婦のうち4人が、破水などにより、北見市の病院へ救急搬送されています。

ボウたちには
あなたたち
産婦人科医が
必要です

平成28年度 遠軽地区総合開発期成会要望書より

○遺族年金受給者向け給付金

年10月から翌年3月までの分を1人3千円支給。
対象者は、平成28年度の町民税が非課税の方で、約4千5百人が見込まれ、障害・遺族年金受給者向け給付金の対象者も該当。現在申請を受付中の高齢者向け給付金の受給者も平成28年度も町民税が非課税の場合は対象。

対象者は、平成28年度臨時福祉給付金の対象者で、障害基礎年金、遺族基礎年金等を受給者で、約2百人を見込む。
給付スケジュールは、8月下旬に申請書を発送、9月1日から申請の受付開始、10月に支給開始。
このほかに委員会を5回開催、案件38件について審議しました。

常任委員会

レポート 4月～6月

経済常任委員会

生田原河畔公園、トイレ、あづまや建設工事に議論集中

本事業は、地域住民からかねてより臭気の苦情が寄せられており、昨年改修と併せて休憩施設整備の要望を受け検討の結果、トイレとあづまやの建設関連予算を計上。

予算特別委員会において総括質疑があり、本事業については、慎重な執行が求められ、当常任委員会においてさらに議論。

【議論のポイント】

①施設の配置場所

・パークゴルフ客が利用しやすいトイレ及びあずまやの配置を検討。

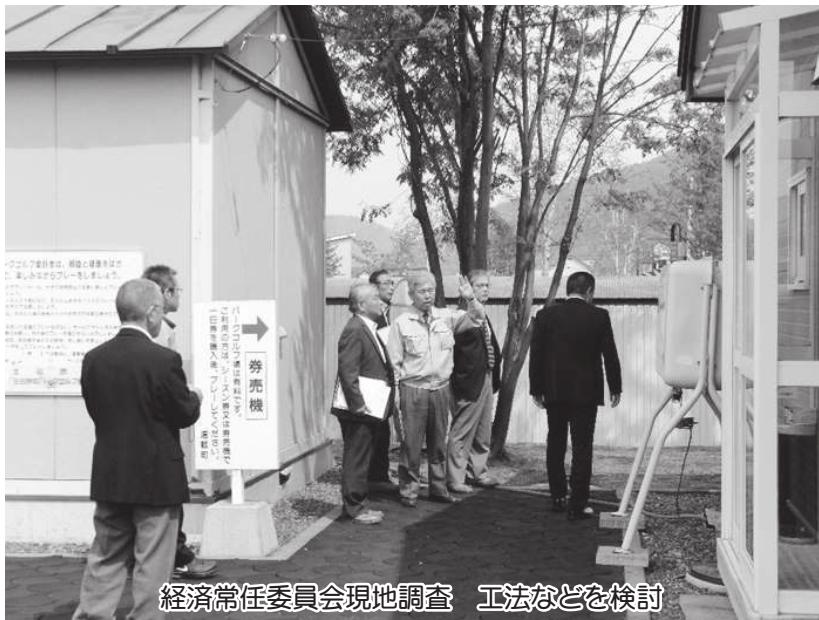
②施設の規模及び工法

・あずまやの大きさは利用者数を推測し、使いやすいサイズに。

・トイレは、利便性を考慮。

③工事費の圧縮

配水管の延長ができるだけ短くするなど、できる限り工事費の圧縮を検討。



経済常任委員会現地調査 工法などを検討

利用者目線とは。

「そもそも」から議論をスタートし、白熱した意見交換をしました。

【結果】
①あづまやは「かぜる南」性を考慮。

側に配置を変更し、利便性を考慮。

②トイレは「かぜる南」に合築し利便性を考慮。
③工法等をさらに精査し工事費を圧縮。

このほかに7回開催、案件39件について審議しました。

このほかの委員会の開催状況

■議会運営委員会

5回開催

○主な審議項目

・遠軽町議会基本条例の見直し

・第3回遠軽町議会（臨時会）審議予定

・第4回遠軽町議会（定例会）審議予定

・第5回遠軽町議会（臨時会）審議予定

■議会改革活性化特別委員会

2回開催

○主な審議項目

・議会広報の充実（議会中継）について

・議会資料のペーパーレス化について

報 告

株式会社
生田原振興公社
第25期事業報告

◆利用者増により増収増益に

○ノースキング
入浴利用者は、『ペアの日』『入浴食事セット券』など、町内外に広く浸透し、また、『ポイントカード』によるリピーターの確保や『年間パスポート』をサービス料金で提供してきました。ラジウム岩盤浴では、お得なキャンペーンを実施し、リピーターが増加するよう努めました。

年間利用実績は、5万6479人で、前期と比べ2747人の増加となりました。

宿泊利用者は、インターネット予約サービスを行ふことにより、「いつでも・どこからでも」空室の確認、宿泊の予約が

できるほか、ホームペー
ジにおいて「今日の生田原」というコーナーで紹介することにより、施設のみならず地域のPRも図ることができます。好評をいただいています。

さらに、旅行サイトにプランを提供し、お客様満足度の向上に努めました。

町内工事関係者や社会人スポーツ選手の団体等の連泊により、大幅に人數が増え、年間の利用実績は1万987人となり、前期と比べ1620人増加となりました。

売店売上は、売れ筋商

品を研究し、新しい商品や地元産の商品を仕入れたり、レイアウトやポップを変えるなど工夫し、販売促進に努めました。

また、えんがる町観光協会にソフトクリームの原材料、ネツツトヨタ札幌株様等へ木の砂場など

のニーズに応えながらメニュの変更やプランを立て、大変好評をいたしました。

年間利用実績は、4万2089人で、前期と比較して、5281人増加となりました。

○年間集客数

ノースキングはレスト

ランを含めて延べ約10万9500人、ちやちや

お客様の満足度向上のため、イベントや企画

展などを多数開催し、入

館者の増加に取り組みま

した。今期は、夏季に屋外施設に客足が流れる傾向が見られたため、大幅に集客を減らし、秋以降は大型連休やツアー等で増加しましたが、冬季は暴風雪の影響が大きかつたこともあり、利用実績は1万8954人で、前期と比べ37人減少しました。

売上高は、2億1850万円（前期1億9310万円）、経常利益は472万円（前期△1289万円）と増収増益となりました。

○公社収益

売上高は、2億185

0万円（前期1億931

0万円）、経常利益は4

72万円（前期△128

9万円）と増収増益とな

設を訪れました。

今期は、夏季に屋外施設に客足が流れる傾向が見られたため、大幅に集客を減らし、秋以降は大型連休やツアー等で増加しましたが、冬季は暴風雪の影響が大きかつたこともあり、利用実績は1万8954人で、前期と比べ37人減少しました。

売上高は、2億1850万円（前期1億9310万円）、経常利益は472万円（前期△1289万円）と増収増益となりました。

○公社収益

売上高は、2億185

0万円（前期1億931

0万円）、経常利益は4

72万円（前期△128

9万円）と増収増益とな

より概ね順調に作業が進んだことで平年並みでのんびり経過しました。

近年は、天気の急変による不安定な日が多く、ほ場の管理が非常に困難を極めることが多くなつております。収穫時には大変苦慮していることがうかがえるところです。

主力の力ボチャは、比較的着果数が多くみられ結実数も多く予想量310トンに対し385トンと地場産の原材料確保は計画を上回ることができました。これにより、力ボチャ全体の加工原料は551トンを確保できることとなり、当初の計画とのおりの実績となりました。

農産物の総取扱加工実績数量は、受託加工を除く計画数量629トンに対し99%、620トンの量を確保することができました。

受託加工については、玉ねぎの皮むき加工を継続して実施してまいりましたが、今期は例年なく中玉中心での作業とな



株式会社
遠軽農業振興公社
第26期事業報告

◆経常利益で増益に

今期は、春先から比較的良好的天候に恵まれた

お客様の満足度向上のため、イベントや企画

展などを多数開催し、入

館者の増加に取り組みま

した。宿泊利用者は、インターネット予約サービスを行ふことにより、「いつでも・どこからでも」空室の確認、宿泊の予約が

できるほか、ホームペー

ジにおいて「今日の生田原」というコーナーで紹介することにより、施設のみならず地域のPRも図ることができます。好評をいただいています。

さらに、旅行サイトにプランを提供し、お客様満足度の向上に努めました。

町内工事関係者や社会人ス

ポーツ選手の団体等の連泊により、大幅に人數が増え、年間の利用実績は1万987人となり、前期と比べ1620人増加となりました。

売店売上は、売れ筋商品を研究し、新しい商品や地元産の商品を仕入れたり、レイアウトやポップを変えるなど工夫し、販売促進に努めました。

また、えんがる町観光協会にソフトクリームの原材料、ネツツトヨタ札幌株様等へ木の砂場など

のニーズに応えながらメニューの変更やプランを立て、大変好評をいたしました。

年間利用実績は、4万2089人で、前期と比較して、5281人増加となりました。

○年間集客数

ノースキングはレスト

ランを含めて延べ約10万9500人、ちやちや

お客様の満足度向上のため、イベントや企画

展などを多数開催し、入

館者の増加に取り組みま

した。

農産物の総取扱加工実績数量は、受託加工を除く計画数量629トンに対し99%、620トンの量を確保することができました。

受託加工については、玉ねぎの皮むき加工を継続して実施してまいりましたが、今期は例年なく中玉中心での作業とな

り、作業効率も上がったことから367トン（前期264トン）と計画を67%上回ることができました。

委託加工料を除く売上高は1億9686万円、経常利益では183万円と若干減少となりました。

一般管理費については諸経費の高騰もあり節減に努めては参りましたが、2706万円となり、前期と比べ387万円の増加となりました。

本期も、徹底した食品衛生管理をはじめ、加工技術の向上と共に経費の節減を図つて参りましたが、電気料をはじめほかの経費高騰もあり、この先においても一段と厳しさを増すものと思われます。今年度末、公社は解散となり26年の歴史に幕を下ろすこととなりましたが、関係各団体及び企業の皆さまには感謝を申し上げます。

遠軽農業振興公社は、平成3年に地元農産物を急速冷凍加工し、付加価値を高めて、生産者価格の安定化と農業所得の向上を図る目的で農産物加工事業を始めた。株式会社フォーレストパーク 第21期事業報告



「第3セクター」の抜本的見直し」を行い農協との協議を進めて、今年度全ての協議が終了したことから、遠軽農業振興公社の清算に至りました。

工部門の運営を第3セクター方式により開始しました。今シーズンは、ほぼ人工降雪機による少ない積雪状況での12月末のオープンまで営業しました。

今シーズンは、ほぼ人工降雪機による少ない積雪状況での12月末のオープンになりましたが、その後まとまつた降雪もあつたことで1月上旬には全面オープンができ、一般客のほか、スキー授業や自衛隊等の地元団体に大きな影響を与えることができました。



○ 営業実績概要	
・ 営業日数	96 日
・ リフト利用者数	18万6555人
・ 売上高	2239万3490円

グビーカップ等のイベントを開催することで大きな賑わいを見せ、経済効果を含め次年度の来場に繋がる良い結果を得ることができました。

遠軽町議会ホームページをご覧ください。

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 遠軽町議会議員名簿 | <input type="checkbox"/> 請願・陳情の手続き |
| <input type="checkbox"/> 常任委員会等名簿 | <input type="checkbox"/> 意見書・決議 |
| <input type="checkbox"/> 遠軽町議会議員会派別名簿 | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査 |
| <input type="checkbox"/> えんがる議会だより | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査報告 |
| <input type="checkbox"/> 一般質問通告（概要） | <input type="checkbox"/> 議会改革のながれ |



えんがある話 (まちの声)

ことが見つからずにもがきましたが、函館に移つた頃、服が好きなので服屋をやりたいと考えるようになりました。

覚を信じ、思い切って解約することにしました。

だけで嬉しくなります。
普通こういう店では、野球、ソバ、政治の話は御法度（ごはつと）とされています。フランスのカフ

エの始まりは「討論の場」だから、本来のカフェの役割を果たしているかなどと。

町に帰ってきたのは？
その友人に「地元でやつてみるのもいいので

そこで物件を探し契約までしたものの、なぜか

町や議会にひとつこと

6月12日に第44回まるせっぷ藤まつりが開催され、今回のゲストは「テツ and トモ」のお二人でした。流行語となつた

カフェ「HOPE」の経営者
小野寺大吾さん（33才）

大学卒業後は？
再度沖縄県に戻り、服屋で働いて資金を稼ぎ、

産婦人科を含めた医療など、人が生きていくため必要なものをしっかりと整えてほしいです。

遠軽町には小さくてもいい店がたくさんあり、そんな店を守つていく町であることを願います。

遠軽町生まれで、サッカーボー少年でしたが、中2からギターにも興味を持ち、バンド活動もしていました。

が、生活することが精一杯でしたので、茨城県の製材会社に2年間働いて資金を貯め、28歳のとき札幌市に戻りました。

「なんでだろう」ばかりが中心になり、コーヒーを飲みに来るお客様が増え、カフェの需要があつたと知りました。

子どもたちの笑顔をステージで引き出すお二人の姿を見て「笑われる」のではなく、町民の笑顔を創出する「笑つてもらう」まちづくりを目指したいと改めて感じました。

大学生生活は？
高校卒業後は放り出された感じで、何をしたらいいのかわからないままでした。そのようななか、父が急死し、一時は大学を辞めようかとも思いました。

そこで物件を探し契約までしたものの、なぜか

力が中心になり手狭になつたところに、今のオーナーから声をかけてきていただき、現在の場所に移転しました。

「まちおこし」は「人おこし」であると聞きました。戻りたくなるまち、やりたいことをやつてみたい、できそう！と思わせる町になつてほしいです。

そのとき考えたことは、

その物件はしつくりきませんでした。その後、友

いの感覚を持っています。

「まちおこし」は「人おこし」であると聞きました。戻りたくなるまち、やりたいことをやつてみたい、できそう！と思わせる町になつてほしいです。

「やりたいことはすぐにやつておこう」「今を大切に生き、人生を楽しもう」ということです。

そうして大学3年に休学し沖縄県と函館市で半年ずつ過ごしました。沖縄では、自分のやりたい

ことが見つからずにもがきましたが、函館に移つた頃、服が好きなので服屋をやりたいと考えるようになりました。



力フェを開店して今は？
何事もやつてみないとわかりません。どんな環境でも、自分次第でどうにでもなると考えています。商売はもろにリアクションが自分に返ってきてます。誰もこないときは、自分が否定されているみたいだし、「いい店だね」と言われると、ただそれ

だけです。
普通こういう店では、野球、ソバ、政治の話は御法度（ごはつと）とされています。フランスのカフ

エの始まりは「討論の場」だから、本来のカフェの役割を果たしているかなどと。